

令和3年度当初予算 歳出(教育委員会)

(単位:千円)

款	項	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	差引増減
3	福祉生活費			
2	児童福祉費	26,633	19,231	7,402
10	教育費			
1	教育総務費	6,608,228	5,375,158	1,233,070
2	小学校費	38,506,020	40,190,208	△ 1,684,188
3	中学校費	23,422,491	23,755,899	△ 333,408
4	高等学校費	28,539,892	28,515,847	24,045
5	特別支援教育費	13,312,625	12,569,322	743,303
7	社会教育費	1,684,999	1,771,280	△ 86,281
8	保健体育費	1,182,650	1,201,782	△ 19,132
11	災害復旧費			
3	県立学校施設 災害復旧費	110,000	110,000	0
教育委員会 計		113,393,538	113,508,727	△ 115,189 (△0.1%)
	うち事業費	構成比 (14.7%) 金額 16,721,584	(13.1%) 14,863,906	(12.5%) 1,857,678
	うち人件費	構成比 (85.3%) 金額 96,671,954	(86.9%) 98,644,821	(△2.0%) △ 1,972,867

<参考>

県予算額に占める教育委員会 予算額の割合	16.2%	17.3%	
県 予 算 額	701,580,937	654,863,000	(7.1%) 46,717,937

令和3年度 教育委員会当初予算(一般会計)の概要

I 予算のポイント

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

【基本方針】

平成31年度全国学力・学習状況調査において、小・中学校の平均正答率がともに全国平均を上回る等、学力向上の取組は成果が現れているものの、中学校の英語には伸び悩みが見られることから、引き続き学力向上の取組を推進します。また、新学習指導要領の全面実施やGIGAスクール構想の進展、新型コロナウイルス感染症が学校に与えた影響を踏まえ、STEAM教育やグローバル教育、一人一台端末等ICTを効果的に活用した新しい教育を推進するとともに、小中高を通じて児童生徒の英語4技能(聞く・読む・話す・書く)を育成します。

体力づくりの推進については、運動部活動において、生徒にとって望ましい環境の構築を図ります。

特別支援教育においては、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応えられるよう、教職員の専門性の向上と教育環境の整備を推進することにより、障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学べるインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮の適切な提供を実施します。また、障がいのある子どもの進路実現のため、進学・就労支援体制を一層強化します。

不登校児童生徒数が増加傾向であることから、未然防止対策の推進と早期対応の徹底を図るとともに、福祉関係機関等と連携し、不登校児童生徒の学校復帰・社会的自立等に向けた支援を充実します。

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、課題となっている長時間勤務の改善に取り組み、子どもと向き合える時間の確保を図ります。

(1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

学力向上においては、これに組織的に取り組む市町村教育委員会を支援するとともに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、小・中・高等学校を通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現するICTを効果的に活用した授業改善の取組を推進します。ICTの活用では、へき地・小規模校における遠隔教育や、EdTech教材による個別最適化された学びを実現します。また、児童生徒の英語4技能向上に向けた小中高の学びをつなぐ英語教育を推進します。

健康・体力づくりにおいては、児童生徒のバランスのとれた体格づくりに向けた個別支援策を推進するとともに、部活動指導員や総合型地域スポーツクラブ等を活用した部活動指導の充実を図り、中高生における運動習慣の定着化を推進します。

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加を促進するため、「個別の指導計画」の作成・活用の推進やICT機器を活用したきめ細かな指導の充実など、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境を維持するとともに、「第三次大分県特別支援教育推進計画」に基づき、特別支援学校の再編整備、高等特別支援学校開校に向けた準備を進めます。また、知的障がい特別支援学校高等部生徒の一般就労支援を強化するとともに、卒業生に対しても県立学校等での勤務を一定期間経験させ、一般就労に必要なスキルと労働習慣の習得を支援します。

就学前の子ども等に対する家庭読書を支援し、読書習慣の定着を図ります。

時代の変化を見据えた教育を展開するため、宇宙科学技術等の先端科学技術分野を目指す人材の育成に向けた探究活動等の推進や、「体験型子ども科学館0-Labo」において先進的な講座を実施するとともに地域拠点で講座を開催します。

(2) グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

海外高校との交流促進、国内外で活躍する人物に触れる機会の創出、海外留学や海外大学への進学に向けた機運醸成等を図ることにより、世界に通用するグローバル人材の育成を推進します。また、国内外機関と連携した双方向型オンライン講座の拡大・充実を図ります。

(3) 安全・安心な教育環境の確保

いじめ問題への対応や、家庭環境に起因する不登校など様々な課題を抱える子どもたちを支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充するとともに、別室登校児童生徒へのサポート体制を整備します。

生涯を通じて災害の脅威から身を守る人材を育成するため、ボランティアなどを行う部活動や生徒会を通じた生徒中心の主体的な防災活動を推進します。

保健衛生用品の整備や臨時スクールバスの準備など、感染症対策の充実を図ります。

(4) 信頼される学校づくりの推進

地域の高校が、生徒の学力向上や地域に根ざした魅力・特色ある取組を実施することにより、地元で信頼され生徒から選ばれる高校づくりを一層推進します。

さらに、学校現場を取り巻く課題が複雑化・多様化し、長時間勤務が課題となる中、教員の心身の負担が増大していることから、教員の授業・事務サポートや部活動改革、教職員研修のWeb化の推進、産休育休取得促進に向けた取組等、学校における「働き方改革」を進め、教員の負担軽減による教育の質の向上を図ります。

(5) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

子どもや学校を取り巻く課題に社会全体で対応するため、学校・家庭・地域の連携をより一層強化することにより、地域学校協働活動を推進します。

また、高校中退者等の就労・進学に向けた学び直しを支援します。

2 芸術文化による創造県おおいの推進

【基本方針】

文化財・伝統文化を県民共有の財産として適切に保存・管理するとともに、文化財を活かした地域活性化に取り組みます。また、大分県文化財保存活用大綱の策定に伴い、市町村の文化財の保存・活用に関する地域計画の作成支援を行います。

(1) 芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

特別支援学校で学ぶ子どもたちの創作活動の活性化と発表機会を創出するため、芸術文化活動を通じた同世代の生徒との交流や、作品展示等を行います。

(2) 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

大分県文化財保存活用大綱の基本理念を実現するため、文化財のデジタル・アーカイブ化等による情報発信を行うとともに、文化財を巡るウォーキング等、文化財を通じた地域の活性化を図ります。また、先哲史料館及び埋蔵文化財センターにおいて、児童生徒とともに、県民が文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会を充実します。

3 スポーツの振興

【基本方針】

健康寿命日本一の実現に向けて、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことのできる機会を充実するとともに、トップアスリートへの重点的な支援など、競技力向上に向けた取組を推進します。

(1) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

ラグビーワールドカップ2019のレガシーを着実に継承するため、子どもがラグビーに触れ合う機会の創出や、拠点型運動部活動等によるジュニア層へのラグビー競技の普及・定着を図ります。

(2) 県民スポーツの推進

武道スポーツセンターの活用を通じてスポーツに親しむ機会を充実させるとともに、総合型地域スポーツクラブを中心に、県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

(3) 世界に羽ばたく選手の育成

本県競技力の向上・安定を図るため、全国大会等での活躍が見込まれる競技において、選手の効果的な育成・強化を行うとともに、優れた才能を持つジュニア選手の発掘・育成を推進します。

II 事業体系（県政推進指針）

3 発展 一人を育み基盤を整え発展する大分県

（1）生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

①子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

—	未来を創る学力向上支援事業	657,993
—	県立学校ICT活用授業推進事業	24,287
—	特 未来を創るGIGAスクール推進事業	18,085
—	特 未来へつなぐ学び推進事業	120,050
—	読書だいすき大分っ子育成事業	6,252
—	児童・生徒の歯と口の健康促進事業	1,549
—	学校部活動改革サポート事業	40,307
—	幼児教育推進体制充実事業	48,090
—	大分地区特別支援学校再編推進事業	78,659
—	特 特別支援学校就労達成促進事業	20,392
—	特 次世代人材育成推進事業	32,938
—	子ども科学体験推進事業	42,595
—	帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業	6,423
—	特 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業	35,413

②グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

—	おおいたグローバルリーダーズ育成事業	25,799
—	おおいたワールドワイド・アカデミー事業	12,675

③安全・安心な教育環境の確保

—	いじめ・不登校等解決支援事業	230,247
—	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	91,003
—	不登校児童生徒教育支援事業	28,186
—	学校防災教育推進事業	8,353
—	県立学校施設整備事業	4,315,890
—	新 県立高等学校等通学時感染防止対策事業	60,000
—	新 特別支援学校通学時感染防止対策事業	186,524
—	新 災害時県立高等学校等通学対策事業	50,000
—	県立学校施設災害時緊急対応事業	110,000

④信頼される学校づくりの推進

—	特 地域との協働による高校魅力化推進事業	49,611
—	新 教員業務サポートスタッフ等派遣事業	865,814
—	教育庁ワークセンター設置運営事業	130,324
—	働き方改革に向けた教職員Web研修推進事業	14,598
—	教員の産休・育休取得促進事業	78,999
—	高等学校等奨学金貸与事業	79,973
—	公立高等学校等奨学金給付事業	354,473

⑤変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援		
└─ 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業		88,590
└─ 外国人とのコミュニケーション拡大事業		3,711
└─ 特 おおいた学びのステップアップ支援事業		2,953
(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進		
①芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり		
└─ みんなでつくる文化活動推進事業		3,746
②文化財・伝統文化の保存・活用・継承		
└─ 特 活かして守る大分の文化財保護推進事業		13,844
(3) スポーツの振興		
①ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承		
└─ ラグビー競技普及振興事業		14,750
②県民スポーツの推進		
└─ 地域スポーツ活動推進事業		8,158
③世界に羽ばたく選手の育成		
└─ 新チーム大分強化事業		128,655
└─ スポーツ大分パワーアップ事業		110,000

(注) 事業名前の「特」はポストコロナ社会創造枠事業を、「新」は新規事業を示す。

令和3年度当初予算の概要（教育委員会の主な事業）

（単位：千円）

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額 〕	当初予算の概要	所管課
1 新 教員業務サポートスタッフ等派遣事業	865,814 (0)	コロナ禍における児童生徒の学びの保障と安全で安心な学習環境を確保するため、きめ細かな指導を行う学習指導員及び消毒等の事務作業を支援するスクールサポートスタッフを配置する。 ・学習指導員 362人 ・スクールサポートスタッフ 432人	教育人事課
2 教員の産休・育休取得促進事業	78,999 (39,141)	教員が産休・育休を取得しやすい環境を整備するため、代替教員を早期配置し、ゆとりある引継期間を確保する。 ・休暇・休業期間に入る1～4か月前の代替教員配置 【特】配置対象の拡充 小・中学校教員→小・中・高校及び養護教員	教育人事課
3 教育庁ワークセンター設置運営事業	130,324 (95,428)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、教育庁内にワークセンターを設置し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。 教育現場における働き方改革を推進するため、県立学校や県立図書館などの教育機関において障がい者スタッフを雇用する。 ・雇用先 教育庁(11人)、県立学校(30人)、教育機関(22人) ・雇用期間 最長5年間（1年更新）	教育人事課
4 新 特別支援学校通学時感染防止対策事業	186,524 (0)	通学時にスクールバスを利用する特別支援学校児童生徒の感染リスクの低減を図るため、スクールバスの臨時増便を行う。	教育財務課
5 県立学校施設整備事業	4,315,890 (3,675,261) +2年度3月補正 予算計上予定	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・第三次特別支援教育推進計画に基づく施設整備（高等特別支援学校及び聾学校新校舎の建設等） ・大規模改造（大分豊府高校など6校）など 〔債務負担行為 240,000千円〕	教育財務課
6 いじめ・不登校等解決支援事業	230,247 (184,673)	児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中・高等学校・特別支援学校に配置する。 ・スクールカウンセラーを全公立小中高・特別支援学校に配置 【特】不登校の児童生徒が多い学校への重点配置（週1回→週2回） 【特】不登校傾向にある生徒への支援等を行う登校支援員の配置 ・学校事故等に対する法的助言等を行うスクールロイヤーの活用など	学校安全・安心支援課
7 スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	91,003 (69,499)	貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決に向け、早期に福祉事務所等の関係機関へ繋ぐ体制の充実・強化を図るため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）及びSSWへの助言を行うスーパーバイザーを配置する。 【特】派遣型から巡回型訪問に拡充するためSSWを増員(42人→57人)など	学校安全・安心支援課
8 不登校児童生徒教育支援事業	28,186 (29,691)	不登校が長期化している児童生徒に対して、学校以外の場における教育機会の確保など支援の充実強化を図るため、県教育支援センター「ポランの広場」を運営する。 ・児童生徒・保護者の相談に対応するアドバイザーの配置（5人） ・ICTを活用して家庭学習支援を行う家庭学習支援員の配置（2人） ・小・中・高校生に対する補充学習教室の開催（県内6か所）など	学校安全・安心支援課
9 特 未来を創るGIGAスクール推進事業	18,085 (0)	小・中学校での主体的・対話的で深い学びを推進するため、授業のイノベーションを促すフロンティア校においてICT活用による授業改善等を実施するとともに、中山間地域等における遠隔教育の実証を行う。 ・個別最適化された学びのためのデジタル教科書、AIドリルの導入 ・中山間地域等小規模校における遠隔授業の実証 など	義務教育課
10 未来を創る学力向上支援事業	657,993 (602,683)	小・中学校での学力向上を図るため、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む市町村に対し、中学校英語教育推進教員（18人）等を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力を把握するため、学力定着状況調査（小5及び中2）を実施する。 【特】小・中学校英語教育推進校を核とした英語指導力の向上・普及など	義務教育課

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
11 幼児教育推進体制充実事業	48,090 (13,481)	幼児教育施設(幼稚園・認定こども園・保育所)における幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育研修の支援や幼小接続に関する研修等を行う。 ・幼児教育アドバイザーの配置(3人) 【新】オンデマンド教材を活用した研修の検証 【新】園務改善に向けたICT設備導入等を行う公立幼稚園への助成補助率 3/4 限度額 75万円 など	義務教育課
12 特別支援学校就労達成促進事業	20,392 (0)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、進路指導の強化や個々の特性に応じた働き方の提案を行うとともに、就職に向けた生徒及び保護者の意識改革や企業からの評価向上につながる職業教育を実施する。 ・ジョブ・コンダクターの配置(6名) ・学習成果や職業技能等を発表するワーキングフェアの開催 など	特別支援教育課
13 特別支援学校キャリアステップアップ事業	55,138 (72,867)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、卒業生を県立学校に一定期間雇用し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。 ・雇用先 高等学校(11人)、特別支援学校(7人) ・雇用期間 最長3年間(1年更新) ※初年度は特別支援学校、2年目以降は高等学校で勤務	特別支援教育課
14 未来へつなぐ学び推進事業	120,050 (0)	これからの時代を担う高校生に必要な確かな学力の育成とグローバル教育及びSTEAM教育を推進するため、英語4技能育成システムを構築するとともに、先端技術を活用したEdTech教材を導入する。 ・英語4技能の育成に向けた認定テストの実施と指導体制確立 ・個別最適化された学びのためのデジタル教科書、AIドリルの導入 ・STEAM教育のための学習用教材の導入 など	高校教育課
15 次世代人材育成推進事業	32,938 (0)	先端科学技術分野で活躍できる人材を育成するため、高校生が宇宙への興味を持ち、挑戦意欲の醸成につながる講座等を実施する。 ・高校生を対象とした通年型のSTEAM課題研究講座の開設 ・STEAMフェスタ及び宇宙と科学の高校生シンポジウムの開催 など	高校教育課
16 おおいたグローバルリーダーズ育成事業	25,799 (17,797)	グローバル人材の育成を図るため、高校生を対象とした「グローバルリーダー育成塾」の開催や海外留学支援金の交付等を行う。 【特】国際系大学と連携したオンラインによるバーチャル留学の実施 など	高校教育課
17 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業	35,413 (0)	魅力ある農山漁村づくりの核となる担い手を確保・育成するため、先進的な農業者や大学等と連携して、農林水産高校生を対象とした実践的な研修等を行う。 ・企業と連携した実践的なスマート農林水産教育の実施(2校) ・くじゅうアグリ創生塾における実践的な研修の実施(約150日) ・全国募集によるくじゅう農業留学プロジェクトの実施 など	高校教育課
18 地域との協働による高校魅力化推進事業	49,611 (0)	地域の高校が中学生から選ばれ、地域に活力を生む学校となるため、地域課題探究学習の実践等地域と連携した取組を強化するとともに、中山間地域に立地する小規模高校とのネットワーク構築に取り組む。 ・高校を核としたプロジェクトの実施 限度額 基本型80万円、選択型70万円 (特別枠は上記限度額に200万円追加) ・小規模高校におけるICTを活用した遠隔授業による科目増設の実証	高校教育課
19 子ども科学体験推進事業	42,595 (32,545)	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-Labo(オーラボ)」を運営し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。 ・科学体験講座を開催するサテライトラボ(地域拠点)の拡充(中津、日田、佐伯各市に加え国東、臼杵、竹田各市で開催) 【特】小・中学生を対象に宇宙を題材としたSTEAM教育講座の開催 【特】動画視聴による在宅型科学体験講座(Webラボ)の実施 など	社会教育課
20 おおいた学びのステップアップ支援事業	2,953 (0)	高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置するとともに、関係機関による連携体制を構築する。 ・教材や高卒程度認定試験の紹介等を行う学習相談の提供(週2回)	社会教育課

事業名	令和3年度 当初予算額 〔 令和2年度 当初予算額 〕	当初予算の概要	所管課
21 外国人とのコミュニケーション拡大事業	3,711 (3,450)	多文化共生社会を実現するため、外国人に対して「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」に関する学習会や講座をモデル地区（別府市、中津市）を中心に開催する。 ・地域住民向け指導者育成講座の開催（6回） ・実践活動に繋げるワークショップ等の開催（6回） など	社会教育課
22 (特) 活かして守る大分の文化財保護推進事業	13,844 (0)	「大分県文化財保存活用大綱」に基づき、地域とともに文化財を活かして守るため、市町村の地域計画作成を支援するほか、文化財への理解・関心を高める情報発信の強化や人材育成等を行う。 ・国・県指定文化財のデジタル図鑑の制作 ・子ども学芸員による企画展の開催 など	文化課
23 学校部活動改革サポート事業	40,307 (40,163)	教員の部活動指導にかかる負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置する。 ・部活動指導員 135人（公立中学校122人、県立高校13人） 【特】 総合型地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行等に関する調査研究を行う。 ・中学校部活動の総合型地域スポーツクラブへの試行的移行（2校）	体育保健課

※ (新) は「新規事業」、(特) は「ポストコロナ社会創造枠事業」